

高澤古道

ハイキングコース

石仏西国三十三観音

往時、草創の頃から美濃、郡上、武芸川方面からの参拝者は県道美濃川辺線から別れて参拝道（高澤古道）を利用したもので標高350m程の高澤山へ向かい尾根伝いに本堂までおよそ2kmの山道を歩きました。

【石仏の由来】

石仏は文化年間（1805～1817年）から安政年間（1856～1859年）にかけて、美濃市口野々に住まわれた床屋さんが若くして他界した我が娘の死をたいそう悲しまれ、その供養のために西国三十三観音を巡礼し建立されたものです。（末裔の方のお話）

見坂峠から高澤古道に入ると飯尾宗祇（いいおそうぎ）の句碑がある。この句碑から40mほど参拝道を進むと左手に第14番の石仏が建つ。石仏は高澤観音本堂裏にあるみたらしの靈水まで続く。

最終の第33番まで1町（約109m）毎に建っており、今も高澤詣の人たちの道中の安全を優しく見守っていて下さいます。まさに古道ロマンの風格が漂う道のりです。

石仏には『為 精方智照信女 菩提』口野々 山田と刻まれています。（石仏に刻まれた年号から、今から遡ること二百数十年前の文化年間～安政年間の時代にかけ奉られたことがわかります。



第1番那智山青岸渡寺 第2番紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 第3番風獣山粉河寺 第4番横尾山施福寺 第5番紫雲山葛井寺 第6番壺阪山南法華寺（壺阪寺）
第7番東光山龍蓋寺（岡寺） 第8番豊山長谷寺 第9番・興福寺（南円堂） 第10番明星山三室戸寺 第11番深雪山醍醐寺（上醍醐准胝堂） 第12番岩間山正法寺（岩間寺） 第13番石光山石山寺 第14番長等山園城寺（三井寺 観音堂） 第15番新那智山観音寺（今熊野観音寺） 第16番音羽山清水寺 第17番補陀洛山六波羅蜜寺 第18番紫雲山頂法寺（六角堂） 第19番靈應山行願寺（革堂） 第20番西山善峯寺 第21番菩提山穴太寺 第22番補陀洛山總持寺 第23番応頂山勝尾寺 第24番紫雲山中山寺 第25番御嶽山清水寺（播州清水寺） 第26番法華山一乘寺 第27番書寫山圓教寺 第28番成相山成相寺 第29番青葉山松尾寺 第30番嚴金山宝嚴寺 第31番姨崎耶山長命寺 第32番繖山観音正寺 第33番谷汲山華嚴寺